

◆参加報告◆

## 研修会参加記

小 館 知 佳

今年4月に図書担当になりました。「相互貸借」という言葉を初めて耳にしたくらい、図書に関して無知識でしたので、図書室の仕事を把握・理解することを目的として今回の研修会に参加しました。

7月18日の定期総会では、日赤図書室協議会がどのように運営されているのかを知ることができました。ワークショップ「図書室再構築」～抱えている問題点などの共有～では、様々な図書室業務の問題点や悩みを考える機会になりました。ワークショップでは活発に意見交換し、今までのやり方で問題なかった部分も効率が良くなるような方法を知る機会となり、視点を変えて図書業務を考えるようになりました。

研修初日に驚いたことは、図書室業務に専任の担当者がいることや、司書の資格を持っている担当者もいて、図書室の規模も様々あるということでした。

7月19日の赤十字・済生会合同研修会は図書室業務初担当の私にとって、少し難しい内容でした。図書室業務と著作権はどのようにつながるのかという疑問からでしたが、株式会社ナレッジワイヤ社長である伊藤勝氏の講演を拝聴し、著作権は学会発表、論文投稿や

リポジトリの構築などにおける「引用」や二次利用に深く結びつくことが分かり、図書の仕事をするうえで必要な知識だと学びました。著作権に関する講演を今回聴くことができ、本当に良かったです。

午後から赤十字と済生会の取り組みについての「事例発表」がありました。赤十字の取り組みでは、「文献複写代金の無料化について」という事例発表が大変勉強になりました。実務では文献複写を数件しか行ったことがなく、全体像を理解できていませんでした。そのため、文献複写について、一から説明していただき理解するとともに、無料化にすることで生じたメリット・デメリットを事前アンケートから提起し、話し合う機会が持てました。当院は文献を依頼する件数が圧倒的に多く、依頼する側のデメリットは少ないですが、申込まれる側は文献複写にかかる諸費用（コピー代、運送代等）の施設負担が増加してまいります。今後の課題としては依頼と申込の件数のバランス改善が取り上げられました。

済生会の取り組みでは、図書担当が看護研究や臨床研修医支援に関わりながら仕事をしているという事例発表でした。仕事内容として、看護研究の検索講習や文献検索の個別指導、臨床研修医向け図書室レクチャーなどがあげられました。看護研究や臨床研修医にどのような方面から図書室が関わりをもてるの

KODATE Chika

盛岡赤十字病院 主事

か、何を求められているのか、を実績とともに発表していただき、新たな仕事の形を知ることができました。

今回の研修で、目的だった図書室の仕事内容が把握できたと思います。理解度は、まだ100%ではありませんが、今後図書室業務を担

当していく上で100%にしていきたいと思えます。

充実した二日間、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。